

日本測地学会第120回講演会プログラム

期日: 2013年10月29日(火) ~ 2013年10月31日(木)

会場: 国立極地研究所 〒190-8518 立川市緑町10-3

講演会会場: 大会議室(2階)

主催: 日本測地学会 共催: 国立極地研究所

講演会予定表

日時	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
10月29日(火)		開 会 宣 言	測地 惑星測地 南極測地 1-11 9:35~12:05		地殻変動(1) 12-19 13:15~15:00			地殻変動(2) 20-28 15:15~17:30		ポスター P1-12 17:30~18:30
10月30日(水)		地球潮汐 海洋測地 29-34 9:10~ 10:25	計測技術 35-40 10:25~ 11:55	評議会 (3階 セミナー 室)	GPS 41-47 13:05~14:35		IAG学 術総会 報告 14:45~ 15:45	坪井賞授賞式 受賞講演 15:45~17:15		懇親会 (別会場) 18:00~
10月31日(木)		SAR 48-56 9:00~11:05	重力 57-60 11:05 ~ 12:00		重力 61-67 13:00~14:35	学 生 優 秀 発 表 賞 発 表	閉 会 宣 言			

※発表時間は質疑を含め、各12分(坪井賞受賞講演は30分)です。多くの講演がありますので時間厳守にご協力願います。
 ※発表用機材はPC(Windows 7)とMacを用意いたします。プレゼンテーションのソフトはPowerPoint 2007 (Windows),
 PowerPoint 2008 (Mac), Keynote 09 (Mac), および Adobe Reader が使用できます。その他のソフトをご使用
 希望の場合は、予めご相談ください。また、予めUSBメモリ等にプレゼンテーション・ファイルをご準備ください。

【ポスターセッション】 コアタイム 10月29日(火) 17:30~18:30 (掲示は31日(木) 13:30まで)

・サイズは縦143cm、横90cm以内で作成してください。

ポスター会場: 大会議室前ロビー (2階)

【賛助会員展示】 講演会場(大会議室内)に展示ブースを設置します。

【極地研見学ツアー】 10月31日(木) 講演会終了後、1時間程度で見学ツアーを行います(学生優先、20名程度)。

10月29日(火)

9:30~9:35 開会宣言

9:35~12:05 測地, 惑星測地, 南極測地

座長: 栗原忍 (国土地理院)
寺家孝明 (国立天文台)

1. c5++を用いた宇宙測地統合解析-初期成果と計画

NICT #ホビガー トーマス
一橋大 大坪俊通

2. 独立成分分析を用いた地殻変動データからのスロースリップイベント成分抽出

統数研 #徳永旭将
防災科研 木村武志, 稲津大祐
明治大学 中村和幸

3. VERA K 帯測地観測データへのGIMの適用

国立天文台 #寺家孝明, 田村良明

4. 中国・四国・九州地方における「日本のジオイド2011」の精度評価

国土地理院 #兒玉篤郎, 森下遊,
宮原伐折羅, 河和宏,
黒石裕樹

5. つくば VLBI 観測局現況報告 - 過負荷によるアンテナ基礎部の損傷-

国土地理院 #若杉貴浩

6. VGOS 観測局の整備(その1)

国土地理院 # 栗原忍, 福崎順洋,
黒田次郎

7. VGOS 観測局の整備(その2)

国土地理院 #福崎順洋, 田邊正,
黒田次郎, 栗原忍,
川畑亮二, 若杉貴浩

8. GRAIL Level-1b データを用いた月重力異常の推定

北大院理 #橋本実奈, 日置幸介

9. GRAIL の結果を用いた月のコア半径の見積もり

国立天文台 #松本晃治, 山田竜平,
菊池冬彦, 花田英夫
JAXA 岩田隆浩
産総研 石原吉明
北海道大学 鎌田俊一
大阪大学 佐々木晶

10. しらせ船上重力データの再処理

京大院理 #松崎和也, 福田洋一
極地研 野木義史

11. これからの南極測地観測への期待

極地研 #渋谷和雄

12:05~13:15 昼休み

13:15~15:00 地殻変動(1)

座長: 大久保慎人 (東濃地震科学研究所),
高橋浩晃 (北海道大学理学研究院)

12. ひずみ地震動(S波)記録をもちいた発震機構解の推定

東濃地震研 #大久保 慎人
産総研 板場 智史
名大院環境 伊藤 武男
京大防災研 加納 靖之

13. 高周波 GPS PPP で地震波形をはかる

京大防災研 #Peiliang Xu
ウーハン大 Chuang Shi, Rongxin Fang,
Jingnan Liu, Xiaoji Niu,
Quan Zhang
Takashi Yanagidani

14. 江刺地球潮汐観測施設で観測された東北地方太平洋沖地震前後でのひずみ速度変化

国立天文台 #田村良明
東北大院理 三浦 哲, 太田雄策,
出町知嗣, 河野俊夫
佐藤忠弘
真英計測 坪川恒也

15. 断層近傍における歪変化の局所的な応答特性

奈良産業大 #向井厚志
神戸学院大 大塚成昭

16. GPS 観測に基づく 2011 年東北地方太平洋沖地震の余効地殻変動

茨城大院理 #堀草子, 宮下芳
東大地震研 青木陽介, 加藤照之
東北大院理 三浦 哲

17. 2013 年 5 月 24 日オホーツク海巨大深発地震(Mw8.3)による地殻変動

北大院理 #高橋浩晃
山形大理 大園真子
東北大院理 太田雄策

18. 南海前弧スリバーにおけるプレート間固着, ブロック運動, 中央構造線の固着分布の推定

高知大院 #一谷祥瑞
高知大理 田部井隆雄
京大防災研 橋本 学

19. フィリピン・ミンダナオ島におけるフィリピン海プレートの収束の解明

高知大院 #中村保彦
高知大理 田部井隆雄
京大火山 大倉敬宏
東濃地震研 木股文昭
フィリピン火山地震研
Teresito C. Bacolol
名大院環境 Endra Gunawan

15:15~17:30 地殻変動(2)

座長: 小澤 拓(防災科学技術研究所)
早河秀章(京都大学大学院理学研究科)

20. アジョイント法による 2003 年十勝沖地震余効すべり域の摩擦パラメタの推定

京大院理 #加納将行, 宮崎真一
平原和朗
JAMSTEC 石川洋一, 日吉善久
伊藤耕介

21. 東北地方太平洋沖地震に伴う地震時地殻変動の地形補正インバージョン

京大院理 #五島仁志, 宮崎真一

22. 点震源によって生じる地球の内部変形 (I): 一様球の場合

東大地震研 #高木悠, 大久保修平

23. 点震源によって生じる地球の内部変形 (II) -相反定理を用いた球対称場の計算

東大地震研 #大久保修平, 高木悠

24. 2013 年 GPS・重力キャンペーン観測による小笠原硫黄島の大規模隆起

防災科研 #小澤 拓, 上田英樹

25. 静穏期における阿蘇火山火口近傍の重力変動

京大火山 #早河秀章, 鍵山恒臣,
吉川慎

26. GPS 観測によるカナリア諸島エル・イエロ島の火山性地殻変動

名古屋大 #鷺谷 威

カナリア火山観測所

ホセ・バランコス・マルチネス,
ダビッド・カルヴォ,
エレアサル・パドロン,

ヘルマン・エルナンデス,
ペドロ・エルナンデス,
ネメシオ・ペレス・ロドリゲス

GRAFCAN

ファン・マヌエル・ポヴェダ・スアレス

27. GPS 観測による蔵王山周辺の地殻変動
東北大院理 #三浦 哲, 太田雄策
出町知嗣, 立花憲司
仙台管区气象台 近江克也, 篠原英一郎

28. Crustal deformation in Mongolia and
tectonics in eastern Asia
東大地震研 #加藤照之
モンゴル天文地球物理研究センター
Amarjargal Sharav
日本気象協会 岩國真紀子

17:30~18:30 ポスターセッション

10月30日(水)

9:10~10:25 地球潮汐, 海洋測地

座長: 飯沼卓史 (東北大学災害科学研)
金 悦希 (国立極地研究所)

29. 超伝導重力計とVLBIのデータを用いた長
周期潮汐パラメータの計算
極地研 #金 悦希, 土井浩一郎,
青山雄一, 渋谷和雄
ウィーン工科大 Tobias Nilsson

30. マルチパスによるGPS潮汐計
北大院理 #中島悠貴, 日置幸介

31. 東北地方太平洋沖地震前の海陸地殻変動
データによる南海トラフ沿いのバックスリップ
モデルの推定
海洋情報部 #横田裕輔, 渡邊俊一,
氏原直人, 佐藤まりこ

海上保安大 石川直史
東大生産研 望月将志, 浅田 昭

32. 南海トラフにおける海底地殻変動観測の
経過報告とトラフ軸近傍への展開に向けた
課題

海洋情報部 #佐藤まりこ, 渡邊俊一,
横田裕輔, 氏原直人
海上保安大 石川直史
東大生産研 望月将志, 浅田昭

33. 2011年東北地方太平洋沖地震後の海底
地殻変動

海洋情報部 #渡邊俊一, 佐藤まりこ,
横田裕輔, 氏原直人
海上保安大 石川直史
東大生産研 望月将志, 浅田 昭

34. 日本海溝における海底GPS集中観測の速
報

東北大災害研 #木戸元之, 日野亮太,
飯沼卓史, 東 龍介,
和田育子, 藤本博己,
長田幸仁
東北大院理 太田雄策, 鈴木秀市,
中山貴史, 出町知嗣,
富田史章

- 10:25~12:00 計測技術

座長: 高島和宏 (国土地理院)
市川隆一 (情報通信研究機構)

35. ボアホール観測に使用するセメントの重要
性

産総研 #板場智史
東濃地震研 石井 紘, 浅井康広
住鉱資源開発 松本滋夫

36. GNSS/PPP 時間・周波数比較における大
気伝播遅延誤差の評価

NICT #市川隆一, ホビガートーマス,

後藤忠広, 雨谷純, 宮内結花,
成田秀樹, 今村國康, 関戸衛

山口和典, 宮川康平,
矢萩智裕, 畑中雄樹,
宗包浩志, 川元智司

37. VLBI 周波数比較への応用と GALA-V システムの開発(II)

NICT #関戸 衛, 岳藤一宏, 氏原秀樹,
ホビガー トーマス, 市川隆一

42. 海上保安庁の験潮所における海面高変動観測における地殻変動の影響
海洋情報部 #大市一芳

38. VLBI 相関処理技術を利用した時空情報正当性検証に関する基礎研究

国土地理院 #高島和宏
NICT 市川隆一, 小山泰弘,
関戸衛, ホビガー トーマス
横浜国大 高橋富士信
一橋大 大坪俊通
オークランド工科大 瀧口博士

43. 再び地震直前の電離圏電子数上昇について

北大院理 #日置幸介
富山県工業技術センター 榎本祐嗣

39. 投げ上げ式小型絶対重力計とその精度の向上について

東大地震研 #酒井浩考, 新谷昌人
真英計測 坪川恒也

44. The Amplitudes of The Near-Field Coseismic Ionospheric Disturbances and Their Relationship with Seismic Moments

北大院理 #Mokhamad Nur Cahyadi,
日置幸介

40. サイレントドロップ方式小型絶対重力計(TAG-1)の誤差評価

東大地震研 #新谷昌人
国立天文台 田村良明
真英計測 坪川恒也
エアランゲン・ニュルンベルク大学
Sergiy Svitlov

45. GEONET 全点連日自動解析システムの開発(その3)

防災科研 #島田誠一
(株)日豊 新出陽平, 伊藤広和

46. 精密単独測位法によるキネマティック GPS 座標時系列の再現性評価

国土地理院 #宗包浩志

47. 水平/鉛直スペクトル比で見る東北地震発生直後の(超)長周期地震動

静岡大院理 #三井雄太
北大院理 日置幸介

11:55~13:05 昼休み

12:00~13:00 日本測地学会評議会

13:05~14:35 GPS

座長: 宗包浩志 (国土地理院)
三井雄太 (静岡大学理学研究科)

41. マルチ GNSS による高精度測位技術の開発—衛星系を組み合わせる技術—

国土地理院 #古屋智秋, 酒井和紀,
万所求, 辻宏道,

14:45~15:45 国際測地学協会学術総会
2013 報告

概要および Theme 4 (地球回転)

日置幸介 (北大院理)

Theme 1 基準座標系

島田誠一(防災科研), 鷺谷威(名大院理)

Theme 2 重力場

福田洋一(京大院理), 宗包浩志(地理院),
福島登志夫(天文台)

Theme 3 自然災害

橋本学 (京大防災研), 飯沼卓史 (東北大)

Theme 5 観測システム

市川隆一 (NICT), 大坪俊通 (一橋大)

Theme 6 可視化・測位技術

ホビガー トーマス (NICT),
太田雄策 (東北大)

15:45~16:05 坪井賞授賞式

16:05~17:15 坪井賞受賞記念講演

T1. 第 21 回個人賞

「測地学的手法を総合的に活用した地球内部構造とダイナミクスの解明」

名古屋大学大学院環境研究科 伊藤武男

T2. 第 13 回団体賞

「海陸統合測地観測に基づく 2011 年東北地方太平洋沖地震に関する研究」

東北大学大学院理学研究科地震・噴火予知
研究観測センター 海陸測地観測グループ
(代表 藤本博己)

10 月 31 日(木)

9:00~11:05 SAR

**座長: 高田陽一郎 (京都大学防災研究所)
宮城洋介(防災科学技術研究所)**

48. InSAR で捉えた宮崎での局所的水蒸気シグナルの再現実験

北大院理 #木下陽平, 古屋正人
防災科研 清水慎吾

49. 合成開口レーダーで捉えたチンチョナ地震 (Mw6.1, コスタリカ) に伴う地殻変動と断層モデリング

北大院理 #梅村宗太郎, 古屋正人

50. InSAR 時系列解析と GPS データを用いた跡津川断層周辺の地殻変動の検出

京大防災研 #高田陽一郎, 西村卓也
名大減災セ 鷲谷 威

51. ALOS/PALSAR 画像の Persistent Scatterer InSAR で見えてきた京都・大阪・奈良の変動

京大防災研 #橋本 学

52. 干渉 SAR 時系列解析による地盤変動監視の実用化へ向けて

国土地理院 #森下 遊

53. TerraSAR-X データでとらえた西クンルン山脈の氷河流動

北大院理 #安田貴俊, 古屋正人

54. ユーコン地域の氷河流動の冬期加速について

北大院理 #古屋正人

55. TerraSAR-X によって検出された霧島山新燃岳の地殻変動

防災科研 #宮城洋介, 小澤 拓,
小園誠史
JAXA 島田政信

56. PS-InSAR 解析による伊豆大島における火山性地殻変動の推定

高知大院 #長谷川雄一
高知大理 田部井隆雄
防災科研 小澤 拓

11:05~14:35 重力

**座長: 松尾功二 (京都大学理学研究科)
潮見幸江 (京都大学火山センター)**

57. GRACE 衛星が捉えた巨大地震に伴う地震後重力変化

北大院理 #田中優作, 日置幸介

58. 警固断層帯における高密度重力測定による断層構造の検出
 九大院工 #有馬大毅, 藤光康宏,
 西島 潤
59. 降水量と重力変化の間の応答関数の推定
 京大院理 #板倉 統, 福田洋一
60. 扁平楕円体調和関数の漸化式計算
 国立天文台 #福島登志夫
- 12:00~13:00 昼休み
61. 火山観測のためのレーザー干渉計型重力鉛直勾配計の開発
 京大火山 #潮見幸江, 鍵山恒臣,
 吉川 慎
62. GRACE 衛星重力データから見た 2004 年スマトラ大地震の余効変動
 東大地震研 #田中愛幸
 京都大理 長谷川崇
63. SLR 衛星から導かれる地球の低次重力場変動: 精度と解釈
 京大院理 #松尾功二, 福田洋一
 一橋大 大坪俊通
64. アラスカ南東部における絶対重力測定: 2013 年報告
 京大院理 #早河秀章, 風間卓仁
 東北大院理 三浦 哲, 佐藤忠弘
 アラスカ大 Max Kaufman,
 Jeff Freymueller
65. インドネシア・グンディガス田での CCS 重力モニタリング計画
 京大院理 #福田洋一, 板倉 統
 九大院工 西島 潤, Yayan Sofyan
 京大院工 松岡俊文
- ITB Wawan Gunawan,
 Darharta Dahrin,
 Eko Widiyanto, Eko J. Wahyudi
 Setianingsih, Susanti Alawiyah,
 Dedi Sukmayadi, Uzil Pratama
66. インドネシアにおける A10 絶対重力計を用いた重力測定
 九大院工 #西島 潤, Yayan Sofyan
 京大院理 福田洋一, 板倉 統
 総合地球研 谷口真人
67. 大霧地熱発電所における gPhone 重力計観測
 産総研 #名和一成, 宮川歩夢,
 安川香澄, 阪口圭一
 九大院工 西島 潤
 日鉄鉱業(株) 平賀正人, 高山純一
- 14:40~14:55 学生優秀発表賞発表
- 14:55~15:00 閉会宣言

ポスターセッション

コアタイム 10月29日(火) 17:30~18:30

P-1. アジア北東部における2011年東北地方太平洋沖地震の余効変動

山形大学理学部 #大園真子
北大院理 高橋浩晃
極東連邦大 Nikolay V. Shestakov
ロシア科学アカデミー
Mikhail D. Gerasimenko

P-2. GNSS データを用いた短期的スロースリップ検出手法の改良

京大防災研 #西村卓也

P-3. 海底圧力観測による2011年東北地方太平洋沖地震の余効変動

東北大災害研 #日野亮太, 飯沼卓史,
木戸元之, 長田幸仁,
藤本博己
防災科研 稲津大祐
京大防災研 伊藤喜宏
東北大院理 太田雄策, 鈴木秀市

P-4. 海底地殻変動観測による太平洋プレートの沈み込み速度検出の試み

東北大院理 #富田史章, 太田雄策
東北大災害研 木戸元之, 長田幸仁,
藤本博己, 日野亮太,
飯沼卓史, 東 龍介

P-5. 2012年12月に北朝鮮から発射されたロケットがもたらした電離圏の穴:ロシアの測位衛星による観測

北大院理 日置幸介, #中島悠貴,
前田隼

P-6. リアルタイムGPS 解析結果可視化ツールの開発(序報)

東北大院理 #出町知嗣, 太田雄策,
三浦 哲, 立花憲司,
佐藤俊也

P-7. 防災科研におけるInSAR 解析ツールの開発—その2—

防災科研 #小澤 拓

P-8. GIAN-T による干渉 SAR 時系列解析

国土地理院 #山中雅之, 森下 遊

P-9. 重力計鉛直アレイ観測の精度向上の検討

東濃地震研 #田中俊行, 本多亮

P-10. GNSS/ 驗潮観測からの平均海面位の重力ポテンシャル値の推定

国土地理院 #黒石裕樹

P-11. 超伝導重力計 iGrav #003 を用いたアラスカ南東部における重力連続観測

京大院理 #風間卓仁, 早河秀章
東北大院理 三浦 哲, 佐藤忠弘
アラスカ大 Max Kaufman,
Jeff Freymueller

P-12. 東濃地域の絶対重力観測点へのGwater-e の適用

東濃地震研 #本多亮, 田中俊行

会場案内図



- 講演会場：国立極地研究所 2F 大会議室

【交通のご案内】

■立川バス

立川北口2番乗り場「大山団地方面ゆき」→立川学術プラザ下車で徒歩1分
次のバス停も利用可能です
立川北口1番乗り場→立川市役所下車で徒歩5分

■くるりんバス

北くるりん～裁判所前または立川市役所下車、徒歩5分

■多摩モノレール

高松駅から徒歩10分

■JR

立川駅北口から徒歩20分

- 懇親会場：立川グランドホテル

JR立川駅北口から徒歩5分。詳しくは <http://tachikawa.khgrp.co.jp> をご覧下さい。